



ボランティアコーディネーション

第 9 回

施設とボランティアセンターの 協力関係をつくる

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長

ごとう まりこ
後藤麻理子

福祉施設やNPOの方のなかには、ボランティアセンター(以下、「センター」)に次のような依頼をよくされる方もいるのではないのでしょうか。「近くの公園に花見に行くので車いすを押せるボランティアを10人」、「夏祭りに模擬店の手伝いをしてくれる高校生を6人」、「バス旅行に付き添ってくれる男性ボランティアを3人」など単発の依頼です。

■ボランティアを紹介しても、リピーターが育たないのはなぜ?

ある保育園での事例を紹介します。12月25日の10時から14時、クリスマス会の補助スタッフとしてボランティアを、という電話が保育園からセンターにありました。内容は、「人数は賑やかなほうがいいので何人でも」、「子どもの好きな人なら誰でも」、「当日、会が始まる15分前までに園に来てくれればよい」というものでした。この園からは、夏祭り、おゆうぎ会、そしてクリスマス会と、行事のたびにセンターに依頼が入ってきます。センターでは、その都度呼びかけて、希望者ややってくれそうな人に声をかけて集めて紹介しているのです。

しかし、どういふわけかリピーターが育ちません。センターのボランティアコーディネーター(以下、「コーディネーター」)はその原因を一度きちんと調べてみようと考えました。

■ボランティアの側の言い分、保育園側の言い分

コーディネーターはまず活動に赴いたボランティア全員から活動後のヒアリングを行いました。すると、「活動者が多くて、活動内容が曖昧なので、手持無沙汰になってしまい、職員にたずねても「ちょっと待ってください」といわれて困った」、「よく動き回る子どもに付いてと言われたが、対応方法がわからず、終始目が離せずつらかった」などの声が聞かれました。

一方、保育園側の担当者に尋ねると、どうやらボランティアを受け入

れることそのものに職員が不満を持っていると感じているようです。そこで、コーディネーターは担当者に思い切って全職員へのアンケートをとるように提案しました。そして、その結果、現場からは「ボランティアが多すぎて仕事を作るのが大変」、「ボランティアにどこまでやってもらっていいのかわからない」、「園長がボランティアを頼めというから文句は言えないけれど…」との声が寄せられ、かなり深刻な状態にあることがわかりました。

■活動の効果を考え、ボランティア受入れの意味を共有する

その後、園長も担当者も強く改善の必要性を感じ、センターのコーディネーターを呼んで、ボランティアに関する職員向けの学習会を3回にわたって開くことにしました。

この園ではなぜボランティアを受け入れるのかを徹底的に話し合い、①保育園にとって、②地域にとって、③ボランティアにとって、の3つの視点から活動の効果を出し合いました。保育のプログラムが充実するという園にとってのメリットだけでなく、地域の人人々に園のニーズや子どもたちを取り巻く状況を知ってもらうきっかけになっていること、若い世代に子育てや保育園の情報を伝える貴重な機会にもなっていることなど、ボランティアを前向きに受け入れていくための下地づくりができました。

ただ単にボランティアを紹介するだけにとどまらず、センターが問題に気づいて受け入れ先に働きかけることによって、改善された事例です。



◆◆◆ 会議・イベント・助成関連情報 ◆◆◆

市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2010

東京ボランティア・市民活動センター

「ボランティアフォーラム」は、現代社会が抱える多様な問題を、多くの市民、参加者が共有し、共に考えるためのイベントです。さまざまな団体の協力のもとに創り上げられ、東京のみならず、毎年多くの方々にご参加いただいています。

昨今、急速な社会変化と共に、世の中の仕組みや制度、地域性、つながり、暮らし、価値観などにおいて、多くの課題が浮き彫りになっています。ボランティアグループやNPOをはじめとした「市民活動」は、社会生活で生み出される課題を敏感に捉えています。そしてそこには、課題解決に向け自ら考え行動する主体としての市民の姿があります。社会の波に飲まれるだけでなく、成熟した社会を目指す試みも次々に生まれてきています。

そこで今回のフォーラムでは、「希望は市民(わたしたち)が創る」をテーマに掲げます。そのテーマの下、「考える」、「育てる」、「つなげる」、「発信する」の4つのカテゴリーを設け、それぞれにテーマ性をもった複数の分科会を用意しています。

テーマ: 「希望は市民(わたしたち)が創る」

日時: 2010年2月5日(金)～7日(日)

プログラム: 分科会・特別プログラム(30以上開催予定)
全体報告会(7日16:30～18:00)
交流会(7日18:15～)

場所: 東京ボランティア・市民活動センター(飯田橋セントラルプラザ)ほかにて

企画・運営: 市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO 2010 実行委員会

主催: 東京ボランティア・市民活動センター

後援: 東京都

参加費: 一人1,000円

※プログラムなど詳しくはホームページ

(<http://www.tvac.or.jp/special/vf2010/>) をご覧ください。

問い合わせ先・参加申込先:

東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10F

TEL. 03-3235-1171 FAX. 03-3235-0050